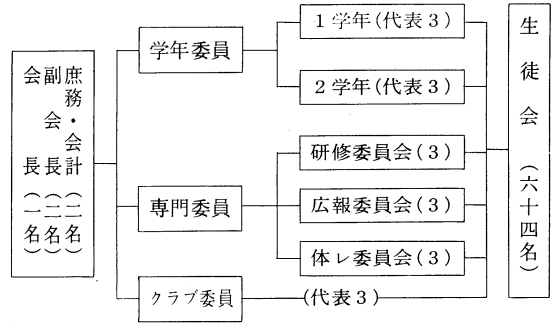


若者によるふるさとづくり「おしゃべりパーティー」

ロ、生徒会及び役員会機構



② 活動の内容

学級は二年編制(学級生数六十四名)とし、一般教養、家事、職業、青少年指導者としての知識技術等、体験学習を通しながら学習している。この間に文部省基準による「青少年初級指導者」の資格を修得し、修了後は各グループ団体、サークル等に参加し、リーダーとしての役割を果たしている。

なお、学級は毎週木曜日を学習日と定め、年間五十一回、百五十四時間、クラブ活動は毎週火曜日に実施し、ほとんど夜間学習である。

(三) 青年団体リーダー研修会

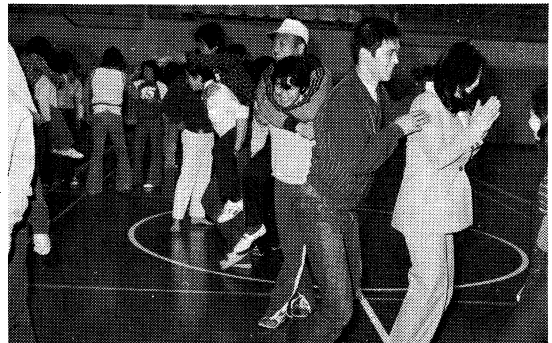
- 目的
- ① 青年団体、グループ、サークルのリーダーに対して、二泊三日の宿泊研修を通し、団体運営の技術、活動のすすめかた等、リーダーとして必要な知識技術を修得させ、団体活動の振興を図っている。
 - (2) 研修の内容
 - ① 団体活動の企画、展開、評価
 - ② レクリエーションの技術
 - ③ 研究討議
 - ④ 各種研修事業への参加奨励
- 視野を広め、自己を拡大するために、他機関が実施する研修会等へも積極的に参加を奨励している。

○ 過去三か年間の派遣状況

研修会名	四八	四九	五〇
○ 県勤労青少年の集い	八		
○ 県青年団体指導者研修		一	
○ 県青年国内研修			一
○ 働く若人の集い			一
○ 青年野外活動研修			一
○ 県有志指導者研修			一
○ 全国青年学級生大会			二
○ 地域振興青年指導者セミナー			二
○ 青少年芸文リーダーの集い			二
○ 冬期レクリエーター研修			三
○ 伊達地方青年研修			五
○ フレンドシップトレーニング			一〇
○ 野外活動指導者講習会			二五
○ 農業経営者海外派遣			三
○ 県若人の翼			一
○ 県若人の集い			二
○ 日中友好農民の船			七
○ レク指導者養成講習			一
○ 青少年実技指導者講習			三
○ 町青年県外派遣研修			一

三、今後の方向と振興方策

- (一) 施設、設備の整備
 - 公民館の整備充実、体育施設の拡充整備、野外活動センターの建設を促進する。
- (二) 指導体制の確立と有志指導者の育成と活用



中央青年学級交歓会風景

- (三) 青少年教育行政体制の再検討
 - 青少年が活動しやすい環境の整備。
- (四) 青年団体連絡協議会の結成を図り、各種団体、グループの連絡協調と連帯意識の高揚を図る。

申すまでもなく、青少年の教育は極めて重要である。わが町においては、すべての社会教育事業の最重点にとりあげ、将来わが町を背負って立つ有為な人間づくりに努力している。